

平成 2 1 年度

《第 3 回》

国 語

時間 5 0 分， 1 0 0 点満点

受験上の注意

1. 解答用紙には、受験番号・氏名を記入してください。
2. 解答は、解答用紙の所定のところに記入してください。記入方法を誤ると得点になりません。
3. 試験終了の合図とともに、解答用紙・問題用紙とも提出してください。

郁文館中学校

一次の文を読み、後の問いに答えなさい。

ぼくが住んでいる丸太小屋のなかに、一枚の大きなポスターが飾られている。重度知的障害更生施設「みずのき寮」と、千葉盲学校の子供たちの、東京都美術館での展覧会のポスターだ。

知的障害の人たちの絵は今までたくさん見てきたが、①目の見えない人たちのすばらしい絵に驚いた。物が見えないということは、なんと多くのものを見ていることか。目が見えるぼくたちは物の表面を見ているが、目が見えない人たちは表面の裏側にひそんでいるものを表しているような気がする。忙しい毎日のなかで疲れたとき、②彼らの作品をながめているとほっとする。傷ついた人、病んだ人を癒す不思議な力をもった作品である。

「ワンダーアート(不思議なおかしな芸術)」、「アール・ブリュット(生の芸術)」、「(A)「エーブルアート(可能性の芸術)」ともいわれる、不思議なパワーをもった癒しの芸術がある。「癒す(heal)」の語源はギリシャ語の「全体(holos)」といわれている。③現代の医療が、治療はできても癒すことが難しくなったのは、患者の「全体」を治そうとしなくなっただけだと思う。

【現代医療に対して、臓器を見て、全体を見なくなったというaヒハンが出だしてから、ずいぶん時間がたった。(B)、人間の病気を治していこうとすると、臓器からアプローチしていくのは、効率的で合理的なbセツキンの仕方だという考え方もあるだろう。医学を進歩させていこうとしたときに*必然的な手法なのかもしれない。

(C)医学は生物学とは違い、人間科学である。(中略)その人が生きてきた歴史に配慮し、それぞれの「生きている意味」をc尊重して、治療していくべきではないだろうか。障害者の「魂を癒す芸術」を見ていると、医学が忘れてきた全体への大切さを思い出させてくれる。】

諏訪中央病院に入るとすぐ目につく壁に、のびのびした書がかかげられている。これらの書は、院内のあちこちにかかっている。知的ハンディをもつ人々が暮らす施設、④かりがね学園の「風の工房」でつくられている作品を中心に、五十点ほどの障害者の作品である。入院患者さんたちの癒しの空間になればと思って、かかげさせていただいた。

この書のひとつの言葉を見ると、ぼくはいつも心をひきしめる。

「がんばらない」

ぼくら医療者が重症な患者さんや末期の患者さんに、つい口に出してしまう言葉「ア」この言葉に勇気をd奮い立たせる患者さんがいる反面、精いっぱいがんばって、がんばって末期をむかえてきた患者さんにとって、がんばれという言葉はとても傷つけることがある。

最初、この「がんばらない」という文字を見たとき、ぼくははっと胸をつかれた。知的ハンディをもった西沢美枝さんたちの「がんばらない」「生きている」「ありがとう」「ぼくのたましい」という作品は、力みのない*悠々とした筆づかいとともに、すごい迫力をもつてぼくらの医療のあり方に問題eティキをする。

多くの患者さんたちからも「不思議な勇気を与えられる」と声をかけていただいた。「あなたは、あなたのままでいい」「競争しなくてもいいですよ」と語りかけているようだ。

西沢さん自身がこの字を書くとき、筆が止まってなかなか進まなかったと聞いた。そんな彼女自身のためらいがこんなすばらしい字にしたのだろう。彼女自身の心が開放され、この作品を見るぼくらの心が開放されていくような気がする。

医者や看護婦がどんなに丁寧でやさしくても、病院というところにいるだけで、患者さんは緊張している。ぼくら医療スタッフががんばりますから、あなたはありのままいてください、そういう気持ちはこの「がんばらない」という書に託したい。

諏訪中央病院のある長野県茅野市には、蓼科や白樺湖をひかえた別荘地がある。別荘をアトリエにする著名な画家や書家から、病院はたくさんの方の作品の寄贈を受けてきた。しかし、病気にうちのめされた気持ちでいる患者さんに、大作は、ときとして威圧感を与える。機会があったら、院内の廊下の突き当たりや、病棟の曲がり角をぜひ見ていただきたい。「いねむり」「ひよっこりお月さん」「ありがとう」「生きている」「はれです」書はイーゼルに立てかけられ、こちらを向いて、心にしみるなごみを分けてくれる。障害のある人たちは上手に書こうといった*邪心がないから、こんないい作品をつくることができるのだろうか。

(鎌田實『がんばらない』より一部改訂)

注

* 必然的・・・必ずそうなることと決まっているようなこと。

悠々・・・ゆったりと落ち着いている様子。

邪心・・・道理に合わない正しくない心。

問一 傍線部a～eのカタカナは漢字に直し、漢字は読みを答えなさい。

問二 (A)～(C)に入る語句として最も適切なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア あるいは イ しかし ウ さて エ なるほど

問三 傍線部①「目の見えない人たちのすばらしい絵」とありますが、目の見えない人たちの絵は、どのようなものを表していると筆者は感じましたか。本文中から十五字以内で抜き出さないさい。

問四 傍線部②「彼らの作品」とありますが、同じものを示す言葉を、本文中の【 】の中から六字で抜き出さないさい。

問五 傍線部③「現代の医療が、治療はできても癒すことが難しくなった」とありますが、なぜですか。その理由として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 治療する技術は高まったが、技術を活用し、癒せる人が少なく、対応が難しくなったから。

イ 様々な種類の病気を治療できるようになったが、治療不能の病気もあり、癒すことが難しいから。

ウ 患者の内面を癒すことはもちろん、患者たちからは効率的な臓器治療も求められているから。

エ 臓器を治療することに重点が置かれ、患者の内面を癒す時間がなくなってしまったから。

問六 傍線部④「かりがね学園の『風の工房』でつくられている作品」とありますが、以下の問いに答えなさい。

(i)「風の工房」の作品を見た人々の感想でないものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 見ている人の心をひきしめる。

イ 見ている人に不思議な勇気を与える。

ウ 見ている人に威圧感を与える。

エ 見ている人の心を開放させる。

(ii) どのような条件でこれらの作品が生まれるのでしょうか。本文中の言葉を使って、三十文字程度で答えなさい。

問七 ア に入る言葉として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 「がんばろう」 「がんばりましょう」

イ 「がんばらない」 「がんばらないで」

ウ 「なんとかなるさ」 「なんとでもなる」

エ 「なんとかしよう」 「なんとかしなさい」

問八 本文中で筆者が最も伝えたいこととして最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア ありのままに生きることが大切であるということ。

イ 人々はいろいろな悩みを抱えながら生きていくということ。

ウ 大作はときとして人に威圧感を与えてしまうことがあるということ。

エ 励ましの言葉は人を傷つけてしまうことがあるということ。

二 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

【僕とこうすけはザリガニつりを楽しみ、つったザリガニを食べることにした。】

(よしっ。ザリガニを食べるぞ) 僕は、①そう決意した。

「さとる。二人で五匹ずつ食べようぜ」

バケツの中の四十匹ほどのザリガニの中から、僕たちは五匹ずつ選んだ。

「おっ、こいつはでかい。おめでとう、君は、僕のごはんに選ばれました」と、こうすけが笑った。

「ピンポン。君は、ミス・ザリガニです。かくごしてください」と、僕も笑った。

「君は、かまゆでの刑です」

「君は、②悪魔のいけにえです」

二人で【 1 】と笑いながら、ザリガニを選び、残りは川にaニがした。

こうすけはかまど風に石を組み、その上にバケツを乗せた。bモ|える火の上で、ザリガ

ニのバケツは【 2 】音を立てた。水が煮立つと、ザリガニは【 3 】と踊るように動き、（A）、赤黒い体は白っぽくなり、きれいな紅色に茹で上がった。

「あっちちつ。さとり、こうやって食うんだ」こうすけは、さつきと同じようにザリガニのカラをむくと、口にほおぼった。「うんめえ。お前も食えよ」

「うん」

僕も、ザリガニをむいた。生きているときにくらべ、小さくちぢんでいたので、カラはするりとむけた。身は真っ白で、かたくしまっている。勇気を出して、その身を口に運んだ。

「うまい。エビみたいだ」

ザリガニは、少し泥臭いエビの味だった。上品ではないけれど、ほっこりとして、なにやら秘密の味がした。

しばらくの間、二人は無言でザリガニを食べた。

とても、残酷なこともかもしれない。（B）、楽しくて楽しくて、【 4 】した。友だちにいったら、軽蔑されるかもしれない。③お母さんにいったら、叱られるかもしれない。（C）、僕は、平気だった。これは、僕とこうすけの、二人の秘密なのだから。

「こうすけは、いつもこんなことしているの」

「いつもってわけじゃないけどな」

「おいしいけど、ちよつと、残酷だね」

「そうかな、豚肉食べるのも、卵食べるのも、ザリガニ食べるのも、みんな同じだよ」

「④そりや、そうだけど……」

「だけど、うまかっただろう」

「そりや、そうだけど……」

「そりやあ、そうだけどお……」こうすけが、オーバーなゼスチャーで、僕のまねをしたので、つられて笑ってしまった。なにが残酷で、なにがそうでないのかはわからなかったけれど、ザリガニはおいしかったし、なによりとても楽しかった。

こうすけは、dドテの草の上に大の字に寝ころがると、空を見ながらこういった。

「だけどな、さとり。⑤ザリガニつてのも、かわいそうなんだよ」

「どうしてさ」

（中略）

「食用ガエルって知ってるか」

「うん、ウシガエルだろう」

「ああ、昔、戦争があつてさあ、食べるものがない時代があつたんだって。そのとき、ウシガエルを養殖して、みんなで食べようと、考えた人がいたんだ。そのウシガエルのエサにするためアメリカから取りよせたのが、この、アメリカザリガニなんだ」

「へーっ、もともとは、ウシガエルのエサだったんだ」

「人間が、勝手に決めたことだけどな。ザリガニはザリガニだもん」

「こうすけ、よく知ってるね」

「岐阜のじいちゃんに、聞いたんだ。（D）、こいつら、強いんだぜ。そのあと、だれもカエルなんか食べないってんで、こいつらも川に捨てられたんだよ。見たこともない日本の川や池で、知らない仲間たちの中で、こいつらはふえ続けたんだ。今じゃあ、日本

中にいるぜ」

「ザリガニって、強いんだ」

「うん、本当に強いよな。⑥捨てられても、泣かないもんな」そういつて、こうすけはしばらくの間、黙りこんだ。

空はばかみたいに青く、僕たちは、しばらく黙って空を眺めていた。

そして、*味噌蔵の影がせまるころ、帰ることにした。昼間、待ち合わせたeジンジャで、こうすけと別れてから、僕は全力で走った。頬にあたる風が気持ちよく、息が切れても、息が切れても走りつづけた。

僕が、こうすけに両親がいないと知ったのは、それから、ずいぶんあとのことだった。

(阿部夏丸『泣けない魚たち』より一部改訂)

注

* 味噌蔵・・・味噌を保管しておくところ。

問一 傍線部 a～e のカタカナを漢字で答えなさい。

問二 (A)～(D) について、以下の問いに答えなさい。

① (A)～(D) のうち、他と同じ言葉が入らないものを選び、記号で答えなさい。

② ①の解答以外の空欄部に入る共通の言葉として、最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア やがて イ だから ウ もちろん エ でも

問三 【1】～【4】の中に入る言葉として、最も適切なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア ピシピシ イ わくわく ウ ゆらゆら エ げらげら オ どきどき

問四 傍線部①「そう決意した」とありますが、この時の僕の気持ちとして最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 「僕」はザリガニを食べられることを知り、とても喜んでいた。

イ 「僕」はザリガニを食べなければいけないことに対して後悔していた。

ウ 「僕」はザリガニを食べようとするこうすけに対して、怒りをおぼえていた。

エ 「僕」はザリガニを食べるということに対して不安が残っていた。

問五 傍線部②「悪魔のいけにえ」とありますが、これは、ザリガニをどのようにすることとを表していますか。本文中の言葉を使って、簡潔に答えなさい。

問六 傍線部③「お母さんにいったら、叱られるかもしれない」とありますが、なぜ、叱られるかもしれないと思ったのでしょうか。その理由を三十文字以内で答えなさい。

問七 傍線部④「そりや、そうだけど……」とありますが、「僕」がこのように思った理由を「くから」に続くよう、本文中から二十五字で探し、はじめの五字を答えなさい。

問八 傍線部⑤「ザリガニつてのも、かわいそうなんだよ」とありますが、なぜですか。その理由として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 人間が生きるために、豚肉や卵と同じように、ザリガニも食べられてしまうから。
- イ 人間が生きるために、ウシガエルを育てなければならなかったから。
- ウ 人間たちの勝手な都合によって、エサとして連れてこられ、捨てられたから。
- エ 人間たちの勝手な都合によって、アメリカザリガニという名前をつけられたから。

問九 傍線部⑥「捨てられても、泣かないもんな」とありますが、この時の「こうすけ」の気持ちの説明となるように、次の文の空欄に適する言葉を自分で考え、それぞれ答えなさい。ただし、A・Bはともに二字、Cは四字で答えることとします。

A がいないザリガニと B がいない自分を重ね合わせることによって、
こうすけの C 気持ちを描かれている。